



Kumasan

平成30年4月20日
学校だより 第2号
熊野第三小学校
校長 平岡 弘資
HP <http://kuma0316.ec-net.jp>

☆つよく かしく やさしい子を目指して！

今年の桜は、例年より早く咲いてあっという間に散ってしまいました。入学式では前日の雨と風でほとんど花が残っていない状況。桜の下で写真が撮れなかったのは残念ですね。今はすっかり葉桜になりましたが、春本番の季節です。新年度に入り、子供たちは1年ずつ進級。短い春休みの間になんとなく大きくなった印象を受けました。

さて、本校の目指す子供像は、引き続き「つよく かしく やさしい子」です。そのために身に付けるべき力も「分かるできる力」「表現力」「向上心」「思いやり」の4つです。その中でも本年度は特に「思いやり」の深化に力を入れていきます。本年度道徳教育の指定を受け



ました。道徳の時間の授業を中心に子供たちに、相手の気持ちや状況を察して優しく思いやりのある行動がとれる、自分を見つめ直しより良く生きようとする道徳的判断力を身に付け実践できる、そんな力を付けていこうと思います。12月6日(木)には公開研究会も予定しています。これまでよりもさらに熊野第三小学校の子供たちの思いやりが深化して、学校中に思いやりの花が咲くことを期待しています。学校だよりでも引き続き子供たちの日常的な様子をご紹介していこうと思いますが、これまで以上に思いやりのあふれた行動等についてはお伝えしていこうと思います。

それでは、まず朝の正門の様子から。新年度が始まりましたが、子供たちは気持ちの良い挨拶をしてくれます。1年生も最初は戸惑い気味でしたが、だんだんと慣れてきたのでしょうか。笑顔で元気に挨拶をしてくれます。1年生にとってはこれまでと違った生活が始まります。朝の登校の様子を見ていると、こちらの心がほっこりと温かくなることが多いです。二つ紹介します。

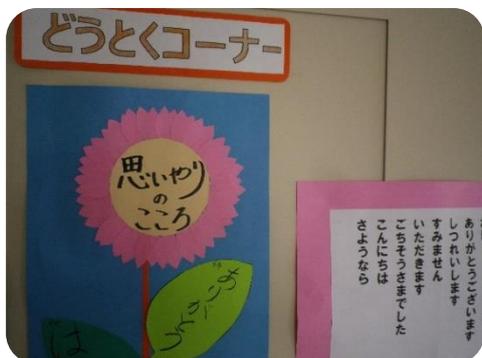
一つ目。お兄さんやお姉さん、お友だちと手をつないで登校することが多い1年生。手をつないだ二人組がやってきます。1年生の女の子と手をつないでいるのは・・顔を見て「あっ」と思いました。2年前この時期の学校だよりでも紹介した女の子。今は3年生になりました。あの頃は登校する時に少し涙も出ていましたが、今は1年生と手をつなぎ、優しい顔。「おはようございます。近所の子？」と聞くとにこっと笑って「そうよ。」と答えてくれました。立派なお姉さんになりました。めちゃくちゃ気持ちの良い朝になりました。

二つ目。毎朝感心していること。5年生女子が毎朝1年生4、5人と一緒に登校してきます。その姿はまるで保育園の保育さんのようです。「そこ危ないよ一気をつけて。」「ちゃんと前を見て歩こうね。」優しい声をかけ、手をつないでやってきます。1年生も安心した顔で素直に聞いています。「みんな校長先生に挨拶して。」1年生は元気に挨拶をしてくれます。

「いつもありがとう。」と声をかけると優しい顔で笑って応えてくれます。正門を入った後も1年生の靴箱まで送ってくれます。まさに思いやりの花が咲いています。



道徳で思いやりの花をさかせたい！



職員玄関前に道徳コーナーができました。「おはよう」「ありがとうございます」「わたしがやります」聞いて気持ちの良い言葉っ
てありますよね。そんな言葉を大切にしたいなと思います。

熊野第三小学校では、「ありがとう」と伝えたくになった言葉や行動をカードに書いて掲示する「ありがとうの木」の取組もスタートします。北校舎1階の1年生脱靴場前辺りにコーナーを設けますので来校の際には是非ご覧ください。思いやりの花がたくさん咲くのが楽しみです。

熊三小に咲く花は



グリーンボランティアさんが草抜きをして花壇をきれいに整えてくださいました。

「ありがとうございます。」と声をかけると「きれいになったら私らも気持ちがいいんですよ。」と答えてくださいました。

職員玄関前にはたくさんの鉢植えにパンジーの花が力いっぱい咲いています。えがお学級の後藤先生が毎日水やりなどのお世話をしてくださっています。きれいな花が咲いたり、花がきれいに見えたりするのは目に見えない周りの人の思いやりの力が働いているのですね。



兄弟班でお掃除です



6年生が1年生と掃除をしています。1年生は6年生の掃除の仕方を見て一緒に掃除をしています。6年生も1年生のお手本になろうと張り切っています。異学年が関わり合う中で子供たちの中にあるやさしさや素直さが育っているように感じます。